

### 自動テオフィリン測定装置 LT-110



喘息の治療に使用される薬剤にテオフィリンがあります。患者にテオフィリンを継続投与し、その血中濃度を一定に維持すれば、喘息発作を抑えることができます。

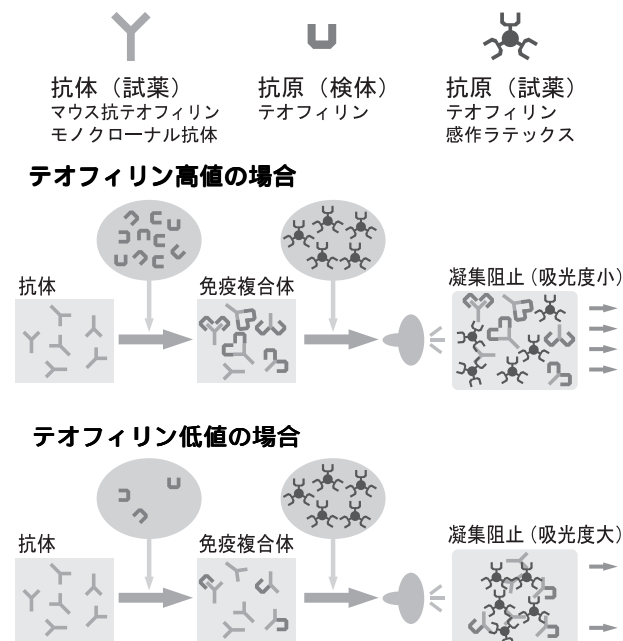
LT-110は、このテオフィリン濃度を、安全性はもとより、手軽に迅速かつ正確に測定できる装置です。

喘息の治療に使われるテオフィリンの代謝速度には個人差があり、実際に血中濃度をモニタリングし、個人ごとに最適量を決めて処方することが求められています。LT-110なら、患者一人ひとりの体質に合わせて薬の処方を決める医療、いわゆるテーラーメイド医療に貢献します。

LT-110は、手軽で操作も簡単、しかも精度の高さが特長。大規模病院における大型機のバックアップ用をはじめ、喘息専門開業医、呼吸器外来やアレルギー外来での使用に最適だといえます。

#### 測定原理：ラテックス凝集阻止法

検体をマウス抗テオフィリンモノクローナル抗体と反応させると抗体とテオフィリンが反応し、免疫複合体を形成。この免疫複合体にテオフィリン感作ラテックスを反応させると、感作ラテックスと検体中のテオフィリンが競合的に結合するため、テオフィリン濃度に比例してラテックス凝集反応が阻害されます。この凝集反応過程の濁度変化をもとに検体中のテオフィリン濃度を計測します。



#### 特長

- 約9分の迅速測定を実現。その場で結果が得られ、迅速な診断と的確な処置を助けます。
- 全血、血漿、血清、いずれも前処理なしで測定できます。
- 測定キーを押すだけの簡単操作。さらに、専用試薬を用いるので試薬調合も不要で、どこでもだれでも簡単に扱え、緊急時にも役立ちます。
- 結果は見やすい大型液晶画面に表示。
- 原理は、精度、特異性に優れたラテックス凝集阻止法を採用。わずか4μLの血液から高精度な測定が可能で、大型の汎用装置と同等の精度を実現しています。
- 底面積289×410mmのコンパクトボディに、試薬、廃液ボトル、プリンタを内蔵。わずかな置き場所に対応します。
- 最新100検体のデータを記憶できます。
- アラーム機能が充実。各種センサが装置の状態を常にチェックしており、エラーメッセージでトラブルを未然に防ぎます。

#### 主な仕様

測定項目	テオフィリン
測定対象	全血、血清、血漿
検体吸引量	4μL
測定範囲	1.0 ~ 30.0μg/mL
再現性	CV5 %以内(10.0μg/mL)
寸法 (mm)	289(W) × 415(H) × 410(D)
質量	約18kg
消費電力	100VA以下